

東葛飾地域各市の紹介

松戸市

松戸市は、千葉県の西北部に位置し、江戸川を隔てて東京都と隣接し、東京駅から乗り換えなしで24分という近さにあります。
また、東京湾岸エリアや埼玉県へもJR武蔵野線で乗換なく行くことができ、海外からの訪問者も成田、羽田両空港から成田スカイアクセス線や京急線により直接本市にアクセスすることができます。

柏市

柏市は、千葉県西北部に位置する人口約43万人の中核市です。都心からのアクセスもよく、多くの商業施設が立ち並び商業の街としても活気をみせています。東部の手賀沼沿いには、水と緑が豊富に残っており、豊かな自然環境も楽しめるまちです。

我孫子市

我孫子市は、水、緑、歴史や文化の四拍子が揃っているながら、都会的なライフスタイルが楽しめるまちで、首都圏へ通勤する人々の住宅地として発展してきました。
東京に最も近い天然湖沼である手賀沼は、かつて別荘地として多くの文人たちに愛された面影を今に残しています。

野田市

野田市は東を利根川、西を江戸川、南を利根運河が流れる緑に恵まれた地域です。
北部は関宿城とその城下町として、南部は醤油醸造を中心に栄えました。歴史に名を遺した人物としては内閣総理大臣の鈴木貴太郎翁や、将棋の関根金次郎十三世名人などを輩出しています。

流山市

流山市には利根運河や江戸川が織りなす美しい自然をはじめ、流山本町にはかつて江戸川の舟運や白みりん発祥の地としてみりん醸造業で栄えたことから、今も古民家や老舗商家が点在し、歴史薫る町並みが残されています。

鎌ヶ谷市

鎌ヶ谷市は、北総台地のなだらかな緑の大地の上に広がる都市です。市内には、鉄道4線が乗り入れ、首都近郊の住宅都市として発展してきました。また、豊かな農地や環境を持ち、梨の名産地としても全国にその名を知られています。

県民の日（6月15日）

「県民の日」は、昭和58年(1983年)に県人口が500万人を突破したことを記念して、6月15日を「県民が、郷土を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次に誇りうる、より豊かな千葉県を築くことを期する日」として、昭和59年(1984年)に制定されました。

県内の各地域では、6月15日の県民の日を中心に、県民の皆様が千葉県の魅力を認識・再発見できる行事を毎年開催しています。

★コラム★

令和5年(2023年)で千葉県誕生150周年！
～県誕生から150年を振り返り、続いていく未来に思いを馳せる～

印旛県と木更津県の合併により千葉県が誕生した明治6年(1873年)から令和5年(2023年)で150年となります。

明治4年(1871年)11月に行われた県の統廃合によって、房総にあった26県は、印旛県・木更津県・新治県の3県となり、明治6年(1873年)6月15日に、印旛県と木更津県が合併し、千葉県が設置されました。

なお、現在の知事に当たる「権令」には、木更津県と印旛県の権令であった柴原和(しばはらやわら)が任命され、県庁は千葉郡千葉町(現在の千葉市中央区)に置かれました。

また、県では、県内の文化資産のうち、多様で豊かなちばの文化の魅力の特徴づけるモノやコトを、県民の皆様の参加により「ちば文化資産」として選定し、紹介しています。

千葉県誕生150周年を契機に、さらに千葉の魅力を多くの県民の皆様にご存知いただくため、令和4年度に追加選定を行い、計150件の「ちば文化資産」が指定されていますので、ぜひ千葉県のホームページでご確認ください！

千葉県誕生150周年記念ロゴマーク



▲「ちば文化資産」について
(千葉県 HP)

企画・編集・作成・発行：県民の日東葛飾地域実行委員会
千葉県東葛飾地域振興事務所 (TEL:047-361-2175)

※本マップの掲載データは令和5年7月時点のものです。(地図データは令和5年3月時点のものです。)
掲載情報が増える場合があります。詳細は各ホームページ等をご覧ください。